

計算条件： 最高水面 (零位)
 隆起量： 平均 -1.21m(-2.58m ~ -0.30m)
 Zo： 0.40m ~ 0.85m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

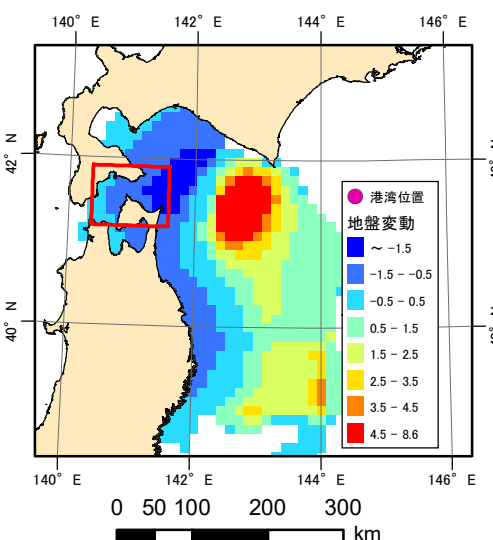
- 最大水位上昇
- 10m以上
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

進入時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では流速のみを表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点算出している。

断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)モデル
 モーメントマグニチュード Mw 9.1

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・国土交通省数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))